

連続発生したトラブルの対応状況と保安規定違反への対応状況について

1. 令和2年1月に連続発生したトラブルへの対応状況

- 当社が策定した再発防止策は完了し、継続的に、包括的な改善活動の推進などを実施中。
- 愛媛県と伊方町からご要請いただいた8項目への対応状況については、
  - ・速やかに実施すべき項目への対応は完了しており、安全文化の醸成、技術力の維持・向上、信頼回復などの長期的な課題に対しては継続した取り組みを実施中。(③~⑧)
  - ・現在、制御棒引き上がり事象の原因となったマグネタイトの発生量低減策の研究や所内電源の一時的喪失の原因となった断路器に対する恒常的な対策を継続的に実施しているところ。(①、②)
- これまでの取り組み状況を、8月5日の原子力安全専門部会および9月2日の環境安全管理委員会においてご報告した。

項目	対応状況
① 更なる安全性向上に向けた詳細調査(制御棒クラスタ引き上がり事象)	根本原因であるマグネタイト発生メカニズムについて確認し、学会で発表。現在、発生量低減策の研究を実施中。
② 恒常的な対策による安全性の確保(所内電源の一時的喪失事象)	恒常的な対応策の検討を完了し、順次工事を実施予定。
③ 安全文化醸成	安全文化醸成活動を継続的に実施。
④ 新チームの研鑽	昨年9月にプロセス管理課を新設。独立した立場から作業計画等のレビュー活動を実施。
⑤ 技術力の維持・向上	ベテラン社員の知見・技術継承等を継続実施。
⑥ 県民の信頼回復	再発防止への取組状況の動画を制作し、情報発信を実施。訪問対話活動も継続実施。
⑦ 安全性の不断の追求	最新知見等の収集、安全対策向上の検討への反映を継続実施。
⑧ 新型コロナウイルス感染症対策	感染防止対策を徹底。愛媛県外からの新規入構者へのPCR検査を継続実施。

※①~⑦が愛媛県から、①~⑥、⑧が伊方町からご要請いただいた項目に対応

- 伊方3号機は、定期検査や特定重大事故等対処施設の工事が順調に進捗している。同施設は、原子炉容器に燃料を装荷したプラント状態で最終検査を行う必要がある。今後、9月18日から燃料装荷を行い、10月には最終検査を実施し伊方発電所の安全性向上に役立てる。
- 今回の運転再開は、昨年の連続トラブルを受けての再開となることから、地元のご理解、最終的には愛媛県・伊方町のご了解といったステップを一つひとつ踏みながら進める。最終的な原子炉起動以降の工程は、愛媛県のご指導を踏まえ、改めて策定し公表する。

	~8月	9月 9/18~21 燃料装荷	10月
伊方3号機 第15回 定期検査工程		9/22~28 原子炉容器復旧	△10/5 特重施設完成(予定)
愛媛県・伊方町 委員会等ご確認	▲7/26 愛媛県原子力安全専門部会 現地調査 ▲8/5 愛媛県原子力安全専門部会	▲9/2 愛媛県環境安全管理委員会 ▲9/7 伊方町議会 ▲9/9 伊方町環境監視委員会	

2. 伊方発電所保安規定違反への対応状況(報告書概要)

- 本事案の再発防止策について取りまとめた報告書を、本日、愛媛県・伊方町に提出。
- 【本事案の概要】
  - 伊方発電所で、過去に、元社員が宿直勤務中に無断で発電所から外出しており、その間、一時的に保安規定に定める必要な要員数(万が一の重大事故等が発生した場合に備えて発電所内で待機しておくべき要員数)を満足していなかったことが判明。
- 【本事案への対応状況】
  - 本事案を受け、直ちに、宿直時の点呼の頻度を高めるなど、必要な要員数の確認体制を強化し、保安規定に定める要員数を確実に満たしていることを確認する運用を開始。
  - 再発防止策として、
    - ・保安規定や法令の遵守および企業倫理の徹底に関する特別教育によりコンプライアンス意識を徹底。(今後も定期的に実施)
    - ・発電所各課単位で実施する職場研究会等において、本事案を題材として議論し、同様な事案の再発防止等について理解を深化。
    - ・GPS付スマートフォンにより宿直者の所在を確認したり、社有車の管理を強化するなど、同様の事態を未然に防止する仕組みを強化。
    - ・平日当番者全員に当番者であることを示す腕章を付けることによる意識付け。
  - これらの対応状況は、今後、原子力安全専門部会、環境安全管理委員会にもご報告する。
  - 本事案については、先日の原子力規制委員会において、保安規定違反との評価が報告され、原子力規制庁による規制検査の中で再発防止策の実施状況について継続して確認されることとなっている。当社は、原子力事業者としての安全確保に対する使命・責任を今一度徹底し、同様な事案が二度と発生しないよう、策定した再発防止策を着実に実施することはもとより、原子力安全に対する意識のより一層の向上とコンプライアンス意識の徹底を継続的に取り組んでいく。

3. 今後の対応について

- 今後とも、伊方発電所の運営にあたっては、原子力安全を最優先にすることはもちろん、安全対策に終わりはしないことを肝に銘じ、これまで実施した対策のみならず、新たな知見が得られた場合には速やかに検討し、必要な対策をとるなど、さらなる安全性・信頼性の向上に向けて、不断の努力を積み重ねてまいり所存であります。
- そのためには、私自身が、東京電力福島第一原子力発電所のような事故は決して起こさないとの強い決意のもと、なによりも原子力安全を最優先にする風土を醸成することこそ、トップマネジメントとしての私の使命であると認識しており、引き続き、先頭に立って訴え続けていく所存であります。
- また、愛媛県および伊方町との「信頼関係の礎」である「えひめ方式」による通報連絡につきましても、これまでどおり迅速・的確に行うなど、引き続き、情報公開を徹底してまいります。